

議会だより

えりも

No.11

平成26年11月1日



9月定例町議会の概要

2P

平成25年度決算について

4P

一般質問 土砂災害対策について

6P

9月定例町議会

9月18日から19日にかけて第3回定例会並びに決算特別委員会が開催されました。定例会では条例の改正や予算の補正など、提出された議案を慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問では3人の議員が登壇し町政に関する諸課題について質問しました。

平成26年度 予算の補正等

財政管理費 190万円
12月1日から開始されるふるさと納税寄付者記念品及びクレジットカード決済導入等に係る経費

難視聴対策費 85万円
えりも及び、庶野テレビ中継局修繕料

徴収費 125万円
公用車故障による入替経費

福祉センター費 59万円 暖房器具更新に要する費用

農業委員会費 122万円
農地情報公開システムの導入経費

牧野管理費 900万円
旧肉牛牧場の一部施設を解体するための費用

林業振興費 720万円
エゾシカ捕獲買上金の追加計上

水産業振興費 343万円 ゼニガタアザラシによる漁業被害軽減を目的とした施設整備事業への補助金

商工振興費 500万円
プレミアム付商品券発行事業の20%割増分を補助

公園管理費 850万円
庶野桜公園トイレ建替工事

小学校施設維持費 100万円
えりも小学校玄関ポーチの修繕費用の追加計上

中学校教育振興費 59万円 特別支援学級設置に伴う備品購入と就学扶助費

高等学校教育振興費 77万円
燃油サーチャージ等の影響で不足が見込まれる海外実践研修助成金の追加計上

体育施設費 43万円
温水プール燃料費不足分の追加計上

議件番号	議 件 名
報告第4号	定例出納検査の結果報告について
議案第11号	特定地域型保育事業条例制定について
議案第12号	家庭的保育事業条例の制定について
議案第13号	次世代育成支援対策推進法一部改正に伴う条例整備
議案第14号	漁港魚場整備事業分担金徴収条例の制定について
議案第15号	保育所条例の一部改正
議案第16号	漁場管理レーダー設置運営条例の一部改正
議案第17号	平成26年度一般会計予算の補正
議案第18号	平成26年度国民健康保険特別会計予算の補正
認定第1号	平成25年度一般会計決算の認定
認定第2号	平成25年度国民健康保険特別会計決算の認定
認定第3号	平成25年度簡易水道特別会計決算の認定
認定第4号	平成25年度診療所特別会計決算の認定
認定第5号	平成25年度下水道特別会計決算の認定
認定第6号	平成25年度介護保険特別会計決算の認定
認定第7号	平成25年度後期高齢者医療特別会計決算の認定
報告第5号	平成25年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告
議案第19号	北海道市町村職員退職手当組合の規約変更
発議第4号	議員の派遣について
同意第1号	教育委員の選任について
意見書案第2号	手話言語法（仮称）の制定を求める意見書
意見書案第3号	ウイルス性肝炎患者医療費助成拡充を求める意見書
意見書案第4号	漁業用燃油軽油引取税免税措置堅持に関する意見書
承認第11号	所管事務調査

人事

教育委員会委員

神田 眞弓
(任期満了に伴う再任)

条例

子ども子育て支援新制度の施行に伴う条例の制定

子ども子育て関連3法の成立に伴う条例整備。幼児期の学校教育・保育、地域の子ども子育てを総合的に支援するという趣旨に基づき国の基準を準用した整備を行う。

漁港漁場整備事業等に係る分担金徴収条例の制定

これまで漁港漁場整備事業等について、「えりも町漁業振興施設整備事業分担金徴収条例」と、「環境・生態系保全活動支援事業分担金徴収条例」に基づき、事業ごとに分担金を徴収してきたものをひとつにまとめたもの。

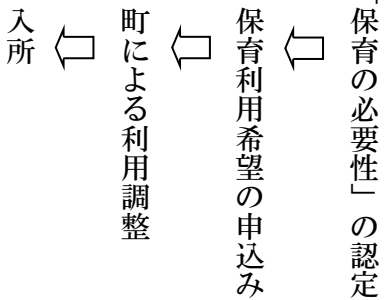
保育所条例の一部改正

保育所の入所選考基準である「保育に欠ける」という文言を、「保育の必要性」と改め保護者の利用希望に応じた調整を行うもの。

現行の保育所入所基準に追加された点は次の通り。

- ① 就労時間の下限を定める
- ② 求職活動（起業準備を含む）
- ③ 就学（職業訓練校等における職業訓練を含む）
- ④ 虐待やDVの恐れがあること
- ⑤ 育児休業取得時にすでに保育を利用している子どもがいて継続利用が必要であること

◇保育所利用までの手順



決算特別委員会を終えて

決算特別委員会委員長

上野 勝廣



いが求められます。国と密接な関係にある地方自治体だけに、国保等の補助のあり方など緩和策を願いたいところでもあります。

9月定例会で決算特別委員会が設置され、図らずも私が委員長に選任されました。平成25年度の一般会計と6特別会計の決算内容について、各委員、理事者、説明員の皆様による活発な質疑応答が交わされたわけでありましたが、委員会採決、続く本会議での採決の結果、全7会計の決算が認定されましたので安堵いたしましたところでもあります。

しかしながら、増大化する滞納と併せ多額の一般会計から特別会計への繰出金、自主財源が乏しく常に地方交付税などの依存財源に頼らなければならぬという状況は、多くの自治体が直面している問題ではあります。負担の公平性と今後の町づくりを考える時、慎重かつ厳正な取り扱

政府は盛んに地方創生の名のもとに「まち・ひと・しごと創生本部」を提唱しておりますが、私たちの町も少しは潤いがあるのでしようか。地方の再生なくして日本の発展はないとよく聞きますが、小さな町で朝早くから頑張っている人々が報われるように期待しています。

今年は、町の主産業とりわけ「昆布漁」は全体的に良かったようです。また、最盛期を迎えた「さけ漁」は、多くの方が関わっておりますので、大漁に恵まれる町の経済が一層発展されるように願っております。一段と寒さを感じる時期となりましたが、皆様のご健康で活躍されますことと併せて町の発展を祈念し、結びとします。

4億3,675万7,171円 年比 2,765万2,827円増

会計別収入未済額調

区分	25年度末 収入未済額 A	24年度末 収入未済額 B	比較増減 A-B	不納欠損額
一般会計	145,710,849	138,403,196	7,307,653	623,427
国民健康保険特別会計	259,570,000	242,745,396	16,824,604	2,630,600
簡易水道特別会計	27,247,972	24,203,712	3,044,260	0
診療所特別会計	0	407,910	▲407,910	0
下水道特別会計	828,350	682,830	145,520	0
介護保険特別会計	1,950,300	1,393,900	556,400	0
後期高齢者医療特別会計	1,449,700	1,267,400	182,300	0
合計	436,757,171	409,104,344	27,652,827	3,254,027

一般会計

各担当課の連携を密にし、町全体の取組みとしての確かな滞納処分の処理を行うとともに、さらなる債権の確保に努め、収入未済額の縮減が図られるよう強く

国民健康保険特別会計

国民健康保険税の滞納額は、町全体の収入未済額の約60%を占めており、町財政及び国民健康保険特別会

望むものであります。

計の安定的運営を期すためにも、被保険者証の更新時の際には担当課との連携を密にした納税指導を徹底するとともに、効率的かつ効果的な滞納整理等、収納率の向上に向けた取り組みが必要である。

下水道特別会計

収入未済額は年々増加傾向にあることから、他の使用料と同様に今後の滞納には十分留意されたい。

介護保険特別会計

今後、ますます高齢化が進行し、要介護認定者及び介護サービス利用者は増加していくものと推測されますので、安定的な事業運営に向けて、これ以上未納額が増加しないよう十分留意されたい。

簡易水道特別会計

滞納世帯が恒常化し、その世帯における滞納額が年々増加傾向にあることから、高額滞納世帯に対しては何らかの厳しい対応が必要と考えます。また、新規滞納世帯が年々増加している状況にあるため、担当職員を増員するなど収納対策の強化を図るよう望むものである。

後期高齢者医療特別会計

滞納者に対しては早期に接触を図り、きめ細かい納付指導を行うなど、収入未済額の縮減に向け、なお一層の努力をされたい。

診療所特別会計

前年度にあった診療収入

(町監査委員平成25年度
決算意見書より抜粋)

平成25年度決算 収入未済総額

※詳しくは町広報に掲載

前

決算特別委員会質疑

固定資産税の収納率が悪い原因は何か？

一般家庭の固定資産税よりも大口の資産を多く持っているところで多額な固定資産税がかかっていると、かなり多年にわたって滞納しているという事が原因ではないかと考えられる。

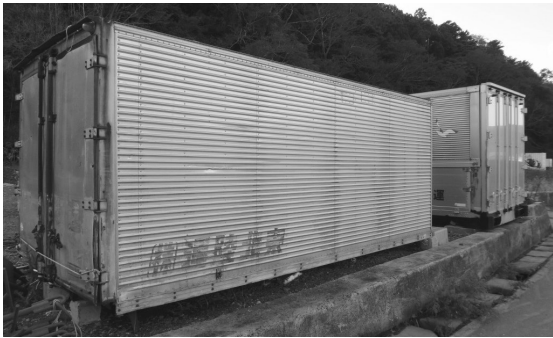
の目に付く所にコンテナがどんだん建ってる状況も把握しております。

今の法律の中では、それを制限するようなものは全

くありませんから、これはやっばり協力を願うという方向性しかない訳であります。しかしながら何とか観光地、そしてまた一方においては、基幹産業の漁業、この両立の中で何か良い方法があれば今後、検討する余地もあるんだろうと思っております。

固定資産税がかからない、また、設置が安価である理由から、倉庫としてのコンテナが増えている。古くなったものも目立ち、観光の町としての景観上いかがなものか？

えりも町は他の地域に比べてコンテナが多く、観光地であるえりも町の道沿い



古いコンテナ等は綺麗に塗ってみてはどうか

町職員の人件費が削減傾向にあるわけですが、職員数も減り業務量も増えております。やる気をだしてもらうためにも、そろそろベースアップ等も考えてみては？

適正な職員の配置を考えながら職員の採用も考えているところであります。ベースアップ等の部分につきましては町の方針として人事院勧告に準ずるといふかたちで行ってきているところであります。

独自削減の部分でまだ残っているものもあります。当面はそのままですが、状況が変わりましたら議会に提案申し上げます。

国民健康保険税の滞納額が増えているが療養給付費を下げるなどの努力をもっと行うべきでは？

特定健診の検診率は少しではありますがよくなくなってきております。産業団体で行っている検診とも連動しながら食生活の改善などの部分で少し力を入れていきたいと考えております。

水道料金の未納が増え続けるわけですが給水停止などの厳しい措置も必要ではないか？

現在のところ口頭での催告はしているものの、給水停止措置までは至っておりません。滞納となつて大口の50件ほどが原因と考えられますが、個人よりも事業主の滞納が目立ちます。給水停止となると商売に影響がでることから個別対応しているところではありますが、今後停止まで行かなくとも水量を制限するなどの方法で対応を検討して参りたいと考えています。



今後、滞納者には給水制限も

一般質問

手塚裕警議員



防災

土砂災害に対する備えは万全か

答 道と連携し整備を進めている

問 手塚議員 広島市の災害に見られるように気候変動の影響により降雨規模が大きくなる傾向にあり、今後、さらに土砂災害の頻度の増加や規模が大きくなることも想定される。急傾斜地の多い当町においても減災対策は急務である。

①整備計画の進捗状況はどうか。

②急傾斜地危険区域の種類と指定方法、当該地所有者への制約事項はどのようになっているか。

③住民への周知や自治会・消防等、関係機関との連携は取れているか。

土砂災害は、前兆現象の発生が不確実であることから危険が切迫していることを現地状況から判断するのは難しく、突発的に災害が発生することが多いこと等、町にとつては、適切な警戒避難体制をとることが難しい災害といえ

答

企画課長 ①急傾斜地の工事は、要望から地権者との協議は市町村が担当し工事を北海道が実施するしくみとなっており、土砂災害対策は住民避難に重点を置く方向となっております。国・道が調査し公表した危険箇所は町内に69か所あり、このうち11か所の詳しい調査が終了し土砂災害防止法の警戒区域指定の準備が進められています。(詳細は町ホームページに掲載)

②土砂災害防止法では土砂が発生する可能性のある「警戒区域」と、土砂災害により建物の倒壊、人命を損なう可能性のある「特別警戒区域」の2つの区分があります。指定区域となった場合、市町村

は防災計画への記載や、具体的避難方法を定めるなどの対応をとります。

また、特別警戒区域では住宅等を建設する場合コンクリート擁壁など土砂を止める構造物の設置が必要となります。指定には住民説明会や町長の意見聴取を経ることとなっております。

③当町ではこれまで地震に伴う津波対策に主眼を置きましたが、今後は広島市の災害を教訓として土砂災害の危険性を住民に周知するとともに関係機関と認識の共有を行っていきたいと考えています。

過疎問題

独自の長期的な過疎化対策が必要では

答 これまで通り第一次産業の振興に努めたい

問 手塚議員 国が取り組んでいる人口減少の克服や地域経済活性化に取り組む「地方創生事業」として、国は秋の臨時国会において地方再生法改正案を審議する予定で、その柱は、地方自治体が国に支援策を提案できるようにするとうものがあります。これから地方自治体には今まで以上に地域の独自性を発揮した積極的な政策提言が求められるようになっていきます。

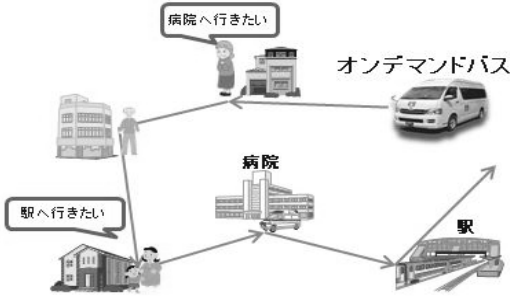
③ハイヤーが予約制になるなど公共交通の存続も危ぶまれています。今後さらに地域公共交通の必要性が高まってくるのが予想されます。当町においても本格的にデマンド交通の導入を検討すべき時期に入っていると思うが、町の見解は。



突発的に発生するため対応が難しい土砂災害

①長期的な人口減少対策や地域活性化事業の推進をどのように考えているか。

乗客の希望に合わせて移動



日高管内でも導入が進む地域デマンド交通



企画課長 ①長期的には、これまで当町では第一次産業、特に水産業の基盤整備に力を注いできました。今後その方針は継承されるべきものと考えています。

小規模自治体にとって人口減少は今に始まった問題ではなく新しい効果的な施策を打ち出すことは簡単ではありません。住民の経済の営みが生活の糧となつて町が活性化されるわけですから一次産業の成長を念頭に置きながら、福祉・医療・教育・防災といった今日的な課題に取り組んでいきたいと思います。

②近年、行政だけではまちの課題に対応できな

なっており自治会の皆さんに担っていただく部分が多くなっています。地域おこし協力隊等はここ2、3年で制度を活用する自治体が増えており、当町においても活用できる分野があるか検討したいと思えます。

③町の公共交通について

地域交通

高松亮裕議員



問 ハイヤーの速やかな運行回復を

答 乗務員の募集が困難であるとの説明を受けた



高松議員 9月15日からハイヤーの営業時間の変更になり、予約制となったことで、利用者の間に不安が広がっている。当町のような過疎地域では、公共交通機関が衰退し、住民の移動手段を確保するためのハイヤーの運行は、非常に重要な役割を担っている。

今回は、乗務員の確保がつかないということだが、

は民間の営業車を最大限活用していくというのが基本的な方針です。その上で今後バスを利用できない地域や時間帯などにデマンド交通を活用できるのかどうか検討を進めたいと思えます。



企画課長 ①ハイヤー会社社長が来町し町長に、「えりも営業所の乗務員が2名とも退職することになり、現在、乗務員を募集している。すぐに経験者を採用できれば、営業時間の変更はないが、未経験者の場合は、教育期間を考えると9月15日以降は、営業時間の短縮と予約による運行とせざるをえない。営業所を閉めるということではなく、今回は乗務員の確保が困難。」という趣旨の事情説明があった。

②町長からは「ハイヤーはなくてはならない。町でも出来るだけの支援をするので、会社として乗務員の確保に全力を尽くしてほしい。」と伝えた。

その後、会社側と協議して周知チラシの9月広報紙折り込みを決定。

③町としては、ハイヤーを存続していくことを前提に、ハイヤーを利用した送迎事業等で適正な輸送量が確保できれば、事業が継続できるものと考え、まずは会社側として、乗務員を確保したうえで、町内でのハイヤー事業について協議す

ることを伝える。

高松議員 大切な町民の移動手段であることの重要性を、強くハイヤー会社に認識してもらうこと。

応募がない場合、長期にわたって町民生活に支障をきたすこととなるので、一刻も早く従前どおりの運行再開に向け、積極的にかかわっていく姿勢を見せるべき。



時間変更、予約制となった日交ハイヤーえりも営業所

エネルギー

問 電気料金値上げに伴い節電を

答 職員一丸となって省エネに取り組んでいく

問 高松議員 北電は、昨年9月の電気料金値上げに引き続き、今年10月1日から個人で17・3%、法人で22・61%の再値上げを申請している。

当町でも、役場庁舎をはじめ、多くの公共施設において、節電に取り組んできたことと思うが、今後、より積極的に節電対策を考えていくべきと考える。

答 総務課長 ①町有施設の電気使用量は、平成24年度、約6千70万円で平成25年度、約6千220万円と比較すると、約150万円、2・5%の増加となっております。

②今回の再値上げに係る年間電気使用量は、1千100万円程度の増加になるものと考えます。

③小学校、中学校、国保診療所が、企業貢献活動により、それぞれの施設の一部が、LED照明となっております。

④低消費電力で長寿命、環境にやさしいなど、その導入効果は、十分理解できるものの、導入には初期投資が多額になることから、現在までその実施を見合わせております。

⑤今後においても、職員一人ひとりが自覚をもつて、省エネに取り組んでいくとともに、LED化についても、それぞれの事務事業と優先順位について検討していきたい。

- ①当町の公共施設における年間の電気料金はいくらか。
- ②仮に、申請どおりの値上げとなれば負担増はいくらか。
- ③公共施設で蛍光灯のLED化は進んでいるのか。
- ④今後の節電対策は。



LED化が望まれる役場庁舎の照明

高松議員 役場庁舎建設から、約20年が経過し、既存の照明器具も更新の時期をむかえている。年次計画を立て、LED化を進めていくことで、相当額の経費削減を図ることができると考える。

また、この節電のノウハウ・経験を一般町民に情報提供し、省エネ補助金等の支援策を打ち出せば、町民の経費負担の軽減に大いに貢献できるものと考ええる。

石川昭彦議員



婚活

問 結婚ヘルパー制度を創設しては

答 公の制度としては難しいのではないかと

問 石川議員 えりも町の出生率が全道で1位という報道があったが、一方で結婚していかない適齢者も相当いると思われる。そこで、結婚に関する相談や調査、仲を取り持つ人を各地区に配置してはどうか。

なことであり、公式な制度としては難しいと考えます。

他の自治体の例などを参考にしながら今後検討したい。

答 企画課長 当町でも未婚率は高くなっており、一昨年、産業団体の協力で後継者の婚活支援を目的とした出会いの場を設ける事業を行いました。

えりも町でも少子高齢化は進んでおり、若い人達は是非とも結婚して幸せな家庭を築いて欲しいと願っております。しかし、この問題は極めてプライベート



結婚して幸せな家庭を築いて欲しい

観光

問

観光ガイドを養成して見ては

答

他町を参考に前進させたい

問

石川議員 えりも町は「襟裳岬」という観光地がありながら地元ガイドがない。

産業や地理、歴史や文化などに関する講座を開いて、ガイドの養成をしてはどうか。地元のことを良く知るといふ事は郷土を愛することにもつながると思うが。

答

産業振興課長 襟裳岬が名勝ピリカノカに指定され、

猿留山道も国指定文化財指定に向けて準備を進めている状況であり、今後ますます地元ガイドの必要性、重要性が増すものと思われ

ます。しかしながら、ガイドを養成し実際に要望に対応するには様々な問題も多く、他町の例なども見ながら前進させていきたい。



ハート型が近年注目を集める豊似湖



悲恋沼の遊歩道

広告

問

事務封筒の空きスペースの有効活用を

答

PRの方法を十分検討して行きたい

問

石川議員 封筒の空きスペースを使って、えりも町の観光や産業の広告、PRをしてはどうか。町としての個性が感じられるものにすべきではないか。

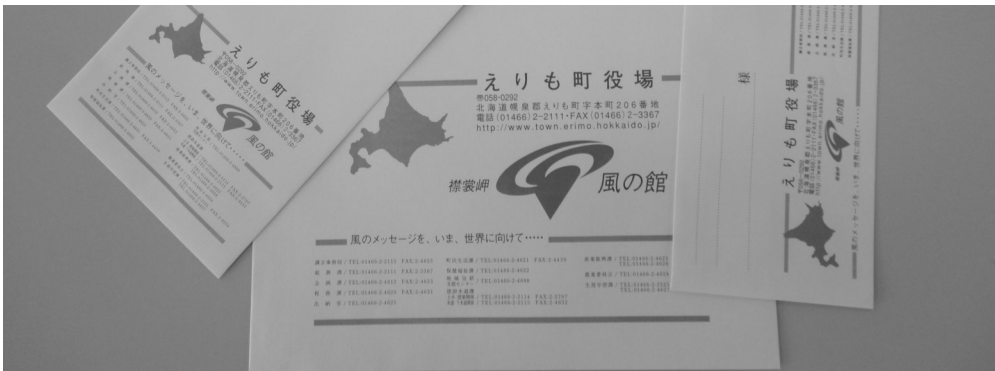
また、地図上にえりも町の位置ぐらいは示してもらいたい。

答

総務課長 えりも町のPR情報等をお

らゆる機会を通じて、他の市町村や団体、それぞれの住民の方に発信するといふ事は重要なことだと考えています。

えりも町の位置がわかるようにすることはすぐに改善したい。空きスペースの利用についても十分に検討して参りたいと考えております。



あらゆるところで町のPRを行っていただきたい

林業活性化議員連盟による植樹を行いました

10月9日(木)、特別養護老人ホームやまと苑の敷地内に、エゾヤマザクラの若木2本を植樹しました。

成田一人会長ら会員8人に議会事務局職員も加わって、高さ3メートル、幹の直径8センチ、樹齢10年ほどの若木を植えました。

昨年の植樹の際に、「以前にも林活議連に若木10本を植樹してもらったが、シカの浸食で消滅してしまっただ。今回はある程度の太さがあるので来春には花を咲かせて入所者を楽しませてくれるでしょう。」と話してくれたやまと苑施設長の言葉のとおり今年春に少しだけ桜が咲いたそうです。

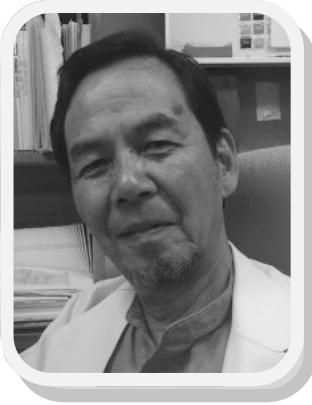
毎年、公共施設などへの植樹活動を続けて、町民が緑に親しむ環境づくりに貢献したいです。



この人に聞く

北海道立庶野診療所

所長 清水 公男



昭和23年6月23日生まれ。金沢大学医学部卒。信州大学第一外科、長野赤十字病院小児外科・救急部を経て、平成17年より北海道立庶野診療所勤務。家族は妻と子ども2人。単身赴任。

—10年間という長い間勤務されたわけですが、えりもにも長く留まられた理由は？

住んでる人達と仲良くなれたことと、海と山の自然が自分に合っていたんだと思います。

—退職後は何をして過ごしたいですか？

以前は医者を辞めて趣味である山登りでもしながらのんびりしようかと考えていましたが、医師不足のご時世でそうも

いきません。先輩方も80歳くらいまでやっていますし(笑)

—10年間という長い間勤務されたわけですが、えりもにも長く留まられた理由は？

住んでる人達と仲良くなれたことと、海と山の自然が自分に合っていたんだと思います。

—退職後は何をして過ごしたいですか？

以前は医者を辞めて趣味である山登りでもしながらのんびりしようかと考えていましたが、医師不足のご時世でそうも

適切な科分けも含め、組織として、何らかの対策を行うべきだと思います。去る者として老婆心ながら...

—えりも町民へのメッセージがあればお願いします。

えりも町は何もない春どころか、海のものも山のものも何でもあるところ。あらゆるものがそろっていて、北海道の中でも独特の面白い場所だと思います。

この素晴らしい環境を将来に向かって大切に守ってほしいと思います。

(取材・手塚)

編集後記

紅葉が日に映える美しい季節を迎えました。秋といえはスポーツの盛り上がるの時でもあります。参加するもよし、応援するもよし。

今年の夏は昆布漁で忙しかったがようやく一段落したのではないでしようか。

暑さも遠のきしのぎやすいのも束の間、朝夕の涼しさに秋が駆け足で過ぎ去っていかうとしています。

今号は定例会と決算特別委員会をテーマにお届けします。皆様にはわかりやすく読んでいただけるよう充実な紙面を目指しています。

(大坂)

議会の動き

- 8月22日 議会広報研修会
- 8月26日 日高地区林活議連総会
- 9月11日 議会運営委員会
- 9月18日 全員協議会
- 9月18日 第3回定例会
～19日 決算特別委員会
- 9月19日 広報特別委員会
- 10月17日 管内正副議長・常設委員長研修会
- 10月18日 日高地区情報化推進議員連盟設立総会
- 10月21日 広報特別委員会
- 10月27日 広報特別委員会
- 10月31日 所管事務調査



えりも町のホームページがリニューアルされました！

えりも町 海と大地のふるさと
<http://www.town.erimo.lg.jp/>
風の町えりも 観光ナビ
<http://www.town.erimo.lg.jp/kankou/>

議会広報特別委員会委員

委員長 石川昭彦
副委員長 高松亮吉
委員 大坂裕喜

手塚裕警